

教 育 研 究 業 績 書

2021 年 8 月 2 日

氏 名 秋 山 智

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例		
(1)難病看護論	2011年から	単に教員の講義だけでなく、実際の患者様をお呼びして話しをして頂き、理解を深めた。また、レポートを直接患者様に向けて書き、学びを深めた。
(2)実務事前実習(薬学部)	2011年から	薬学部と看護学部の学生(4年生)を合同でグループにして、特定の課題について話し合い、他職種の連携とお互いの理解を深めた(2014年まで)。また、薬学部学生に対するバイタルサインの技術演習を企画し、実施した。
(3)看護学概論(臨床工学専攻)	2017年から	臨床工学専攻における看護学の必要性について検討し、授業計画を組み立てた。
2 作成した教科書、教材		
(1)若年性パーキンソン病を生きる	2011年	一般にはあまり知られておらず、普通の教科書にも載っていない若年性パーキンソン病の実態について、多くの患者の事例を通して、生活の現状や諸問題を中心にまとめた。
(2) 緊急度・重症度からみた症状別看護過程[第2版]	2014年	主な神経症状(言語障害・不随意運動)について緊急度・重症度からアセスメントし、看護診断、看護目標、看護計画を整理した。
(3) 病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程[第3版]	2016年	多発性硬化症・パーキンソン病患者の看護について、病期・病態・重症度からアセスメントし、看護診断、看護目標、看護計画を整理した。
(4)難病患者の恋愛・結婚・出産・子育て	2017年	若年性パーキンソン病の実態について、多くの患者の事例を通して、恋愛・結婚・出産・子育てを中心にまとめた。
3 当該教員の教育上の能力に関する大学等の評価		
(1) 学生による授業評価 (広島国際大学)	2006 年度から	毎年「成人看護学概論」の授業評価を学生より受けている。この授業を受講して良かった、授業に積極的に取り組んだ、説明は理解しやすかった、教材を効果的に使用していた、など、ほぼ全項目に対して、学科平均点より高得点を得ている。
(2) 教員評価 (広島国際大学)	2010 年度から	教員評価については、2010 年度 A (偏差値 67.7)、2011 年度 A (偏差値 65.1)、2012 年度～2013 年度も A、2014 年度は S と継続して高評価を得ている。学科長として、学科の運営をリードしていた点が大いと思われる。その後も S または A の評価を受けている。

4 実務家教員についての特記事項		
(1) (2)		
5 その他(科研費等取得実績)		
I. 文科省関連科研費補助金 (1) 平成14～16年度科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))、 (2) 平成16～18年度科学研究費補助金(基盤研究(C)(2)) (3) 平成17年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)「研究成果公開發表(B)」、 (4) 平成19～22年度科学研究費補助金(基盤研究(C))	2002～2004年度 2004～2006年度 2005年度 2007～2010年度	神経難病患者の在宅医療・福祉サービスの役割と患者の生活の質に関する研究、研究代表者加藤匡宏の研究協力者秋山 智、平成14～16年計350万円 神経難病患者の発病から退職に至るまでの就業中の経験に関する質的研究、研究代表者 秋山 智、平成16～18年計200万円 難病ケアの原点～尊厳ある生活援助に向けて～、第10回日本難病看護学会学術集会会長 秋山 智として、計125万円 研究成果:第10回日本難病看護学会において、シンポジウムとして「難病医療ネットワークの課題と展望」、セミナーとして「難病在宅看護の現場より」他計4題を企画実施した。 若年性神経難病患者の“社会との接点”と“SEIQoL-DW”との関連に関する研究、研究代表者 秋山 智、平成19～22年計200万円、

(5) 平成23～27年度科学研究費補助金(基盤研究(C))、	2011～2015年度	SEIQoL-DW による経時的変化を用いた若年性神経難病患者のQOLに関する研究、研究代表者 <u>秋山 智</u> 、平成23～27年計210万円、
(6) 平成26年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)「研究成果公开发表(B)」、	2014年度	難病患者の社会参加と生活設計、第19回日本難病看護学会学術集会会長 <u>秋山 智</u> として、計100万円 研究成果：第19回日本難病看護学会において、シンポジウムとして「若年性パーキンソン病患者の出産と子育て」他計2件、セミナーとして「難病看護と遺伝」他計4題を実施した。
(7) 平成28～令和3年度科学研究費補助金(基盤研究(C))、	2016～2021年度	SEIQoL-DW を経時的に用いての若年性神経難病患者のQOL評価とケア構築、研究代表者 <u>秋山 智</u> 、平成28～令和3年計210万円、
(8) 2019年度～2022年度科学研究費補助金(基盤研究(C))	2019～2022年度	フライトナースにおける看護活動実践活動能力に関する研究、代表研究者 作田裕美、分担研究者 <u>秋山智</u>
II. 厚生労働科学研究費補助金		
(1) <u>金</u> 平成17年～19年度厚生労働科学研究費補助金:難治性疾患克服研究事業「特定疾患のQOL研究」班、平成17～19年、	2005～2007年度	特定疾患の生活の質(QOL)の向上に資するケアの在り方に関する研究、研究代表者中島孝の分担研究者 <u>秋山 智</u> 、自身の分担金平成17～19年計210万円
(2) 平成20年～22年度厚生労働科学研究費補助金:難治性疾患克服研究事業「特定疾患のQOL研究」班、	2008～2010年度	特定疾患の生活の質(QOL)の向上に関する研究、研究代表者小森哲夫の分担研究者 <u>秋山 智</u> 、自身の分担金平成20～22年計210万円
職務上の実績に関する事項	年月日	概要
1 資格、免許		
(1) 看護師免許証	昭和57年4月23日	看護師籍登録番号第3947号
(2) 介護支援専門員	平成13年3月18日	愛媛県第03047号
(3) 難病看護師	平成27年5月11日	日本難病看護学会第140号
2 特許等		
(1)		
(2)		

3 実務家教員についての特記事項		
(1)		
(2)		
4 その他		
(1)		
(2)		

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
1 老人と語る看護：老人ケアワーカーの実践指針・老人看護物語（第1章）	共著	1987	メヂカルフレンド社	<u>秋山智</u> ・長野勝、pp.2～274
② 老人と語る看護：老人ケアワーカーの実践指針・老化の理解（第2章）	共著	1987	メヂカルフレンド社	長野勝・ <u>秋山智</u> 、pp.275～310
③ 老人と語る看護：老人ケアワーカーの実践指針・主な日常生活への援助（第3章）	共著	1987	メヂカルフレンド社	長野勝・ <u>秋山智</u> ・西谷博則・今久仁子・長野広敬、pp.311～354
2 高齢者教育テキストブック：学んで実りの老いを創める・社会保障、福祉の見地から（第1章；第5節）	分担共著	1992	東京教科書出版	<u>秋山智</u> 、pp.43～51
② 高齢者教育テキストブック：学んで実りの老いを創める・高齢期の健康（第2章；第1節）	分担共著	1992	東京教科書出版	<u>秋山智</u> 、pp.52～61
③ 高齢者教育テキストブック：学んで実りの老いを創める・保健医療福祉と高齢者教育（第8章；第1節）	分担共著	1992	東京教科書出版	<u>秋山智</u> 、pp.165～178
④ 高齢者教育テキストブック：学んで実りの老いを創める・老人看護と高齢者教育（第8章；第2節）	分担共著	1992	東京教科書出版	<u>秋山智</u> 、pp.179～190
3 筋・神経系難病の在宅看護：医療依存度が高い人々に対する看護・病棟内退院準備の実践（第III章；第7節）	分担共著	1994	日本プランニングセンター	<u>秋山智</u> 、pp.131～133

4 ①	看護診断・看護過程：松木の生活統合体モデルの活用・心筋梗塞患者の皮膚統合性の障害に関する看護	共著	1997	日本総合研究所	岡野好恵・佐藤福美・阪本恵子・ <u>秋山智</u> 、pp.103～111
②	看護診断・看護過程：松木の生活統合体モデルの活用・急性骨髄性白血病患者の口腔粘膜の変調に関する看護	共著	1997	日本総合研究所	佐藤福美・阪本恵子・ <u>秋山智</u> 、pp.112～120
③	看護診断・看護過程：松木の生活統合体モデルの活用・肝臓癌手術後患者の無効な気道クリアランスに関する看護	共著	1997	日本総合研究所	藤田抄子・別宮百合・影浦佳保里・熊則子・ <u>秋山智</u> ・阪本恵子、pp.121～130
④	看護診断・看護過程；松木の生活統合体モデルの活用・熱傷術後患者の感染仲介のリスク状態に関する看護	共著	1997	日本総合研究所	大野タエ子・袖岡照子・栗田衛・名本康子・阪本恵子・ <u>秋山智</u> ・佐藤福美、pp.131～139
5	救急患者の体液管理	編著	1999	メディカ出版	白川洋一・ <u>秋山智</u>
6 ①	系統統別標準看護計画ガイド：第2巻・脳・神経系疾患患者の看護；脳梗塞(保存的療法)患者の看護を中心に	分担共著	1999	照林社	<u>秋山智</u> 、pp.36～52
②	系統統別標準看護計画ガイド：第2巻・脳梗塞患者(回復期)の「末梢血管組織循環の変調」に関する看護；ロイの適応看護モデルの活用	分担共著	1999	照林社	<u>秋山智</u> 、pp.53～60
③	系統統別標準看護計画ガイド：第2巻・内分泌・代謝系疾患患者の看護；NIDDM(インスリン非依存型糖尿病)患者の看護を中心に	分担共著	1999	照林社	<u>秋山智</u> 、pp.126～138
④	系統統別標準看護計画ガイド：第2巻・糖尿病患者(慢性期)の「非効果的治療計画管理」に関する看護；松木の生活統合体モデルの活用	分担共著	1999	照林社	<u>秋山智</u> 、pp.139～147
7 ①	看護学 Care Note ・成人看護学；脳神経系	分担共著	2005	医学芸術社	<u>秋山智</u> 、pp.532～575
②	看護学 Care Note 別冊サブ・コア問題集・成人看護学；脳神経系	分担共著	2005	医学芸術社	<u>秋山智</u> 、pp.72～74

8 病期・病態・重症度から ① みた疾患別看護過程；多 発性硬化症患者の看護	分担共 著	2008	医学書院	入岡隆・水澤英洋・ <u>秋山智</u> 、pp.1138～ 1156、 多発性硬化症患者の看護について、病期・ 病態・重症度からアセスメントし、看 護診断、看護目標、看護計画を整理し た。
② 病期・病態・重症度から みた疾患別看護過程；パー キンソン病患者の看護	分担共 著	2008	医学書院	山脇正永・ <u>秋山智</u> 、pp.1157～1176、 パーキンソン病患者の看護について、病 期・病態・重症度からアセスメントし、 看護診断、看護目標、看護計画を整理 した。
9 人体の構造と機能から ① みた病態生理ビジュアル マップ（第4巻）；多 発性硬化症	分担共 著	2010	医学書院	入岡隆・水澤英洋・ <u>秋山智</u> 、pp.129～ 136、 多発性硬化症の病態生理について、人 体の構造と機能の視点からビジュアル 的に理解できるよう整理した。
② 人体の構造と機能から みた病態生理ビジュアル マップ（第4巻）；パー キンソン病	分担共 著	2010	医学書院	山脇正永・ <u>秋山智</u> 、pp.137～146、 パーキンソン病の病態生理について、 人体の構造と機能の視点からビジュアル 的に理解できるよう整理した。
10 緊急度・重症度からみた ① 症状別看護過程と病態 関連図：言語障害のある 患者の看護	分担共 著	2011	医学書院	<u>秋山智</u> ・上西孝明、pp.360～367、 言語障害のある患者の看護について、 緊急度・重症度からアセスメントし、看 護診断、看護目標、看護計画について まとめた。また、この症状に関する病 態関連図を整理した。
② 緊急度・重症度からみた 症状別看護過程と病態 関連図：不随意運動のある 患者の看護	分担共 著	2011	医学書院	<u>秋山智</u> 、pp.1060～1067 不随意運動のある患者の看護につい て、緊急度・重症度からアセスメント し、看護診断、看護目標、看護計画に ついてまとめた。また、この症状に関 する病態関連図を整理した。
11 若年性パーキンソン病 を生きる～ふるえても、 すくんでも、それでも前 へ！～	単著	2011	長崎出版	<u>秋山智</u> 一般にはあまり知られておらず、普通の教 科書にも載っていない若年性パーキン ソン病の実態について、多くの患者の事例 を通して、生活の現状や諸問題を中心 にまとめた。
12 病期・病態・重症度から ① みた疾患別看護過程；多 発性硬化症患者の看護 [第2版]	分担共 著	2012	医学書院	入岡隆・水澤英洋・ <u>秋山智</u> 、pp.1135～ 1153、 多発性硬化症患者の看護について、病期・ 病態・重症度からアセスメントし、看 護診断、看護目標、看護計画を整理し た。
② 病期・病態・重症度から みた疾患別看護過程；パー キンソン病患者の看護 [第2版]	分担共 著	2012	医学書院	山脇正永・ <u>秋山智</u> 、pp.1154～1173、 パーキンソン病患者の看護について、病 期・病態・重症度からアセスメントし、 看護診断、看護目標、看護計画を整理 した。

13 ① 緊急度・重症度からみた 症状別看護過程と病態 関連図[第2版]:言語障 害のある患者の看護	分担共 著	2014	医学書院	秋山智、pp.361~368、 言語障害のある患者の看護について、 緊急度・重症度からアセスメントし、 看護診断、看護目標、看護計画につ いてまとめた。また、この症状に関 する病態関連図を整理した。
② 緊急度・重症度からみた 症状別看護過程と病態 関連図[第2版]:不随意 運動のある患者の看護	分担共 著	2014	医学書院	秋山智、pp.1064~1071 不随意運動のある患者の看護につ いて、緊急度・重症度からアセス メントし、看護診断、看護目標、 看護計画についてまとめた。また、 この症状に関する病態関連図を 整理した。
14 ① 病期・病態・重症度から みた疾患別看護過程;多 発性硬化症患者の看護 [第3版]	分担共 著	2016	医学書院	入岡隆・水澤英洋・秋山智、pp.1112~ 1129、 多発性硬化症患者の看護について、 病期・病態・重症度からアセ スメントし、看護診断、看護目 標、看護計画を整理した。
14 ② 病期・病態・重症度から みた疾患別看護過程;パ ーキンソン病患者の看護 [第3版]	分担共 著	2016	医学書院	山脇正永・秋山智、pp.1130~1149、 パーキンソン病患者の看護につ いて、病期・病態・重症度から アセスメントし、看護診断、 看護目標、看護計画を整理 した。
15 難病患者の恋愛・結婚・ 出産・子育て	単著	2017	あっぷる出版 社	秋山智 若年性パーキンソン病の生活実態につ いて、多くの患者や家族の事例を通 して、恋愛・結婚・出産・子育てを 中心にまとめた。
1 6 ① 緊急度・重症度からみた 症状別看護過程と病態 関連図[第3版]:言語障 害のある患者の看護	分担共 著	2019	医学書院	秋山智、pp.360~367、 言語障害のある患者の看護につ いて、緊急度・重症度からアセ スメントし、看護診断、看護目 標、看護計画についてまとめた。 また、この症状に関する病態 関連図を整理した。
16 ② 緊急度・重症度からみた 症状別看護過程と病態 関連図[第3版]:不随意 運動のある患者の看護	分担共 著	2019	医学書院	秋山智、pp.1074~1081 不随意運動のある患者の看護につ いて、緊急度・重症度からアセ スメントし、看護診断、看護目 標、看護計画についてまとめた。 また、この症状に関する病態 関連図を整理した。
17 ① 病期・病態・重症度から みた疾患別看護過程;多 発性硬化症患者の看護 [第4版]	分担共 著	2020	医学書院	入岡隆・水澤英洋・秋山智、pp.1122~ 1140、 多発性硬化症患者の看護につ いて、病期・病態・重症度から アセスメントし、看護診断、 看護目標、看護計画を整理 した。
17 ② 病期・病態・重症度から みた疾患別看護過程;パ ーキンソン病患者の看護 [第4版]	分担共 著	2020	医学書院	山脇正永・秋山智、pp.1141~1160、 パーキンソン病患者の看護につ いて、病期・病態・重症度から アセスメントし、看護診断、 看護目標、看護計画を整理 した

(学術論文) ・数字は学術論文、 ・アイウ・・・は総説・特集等				
1 患者の自立を支えた退院指導；地域での継続看護との連携を通して《筆頭論文》	共著	1985	看護学雑誌・第49巻第9号	秋山智・長岡順子・沼倉加代子・藤城幸恵・美浦恵子・後藤陽子、pp.1015～1020
2 ジェロゴジーと隣接科学との関連に関する研究～特にジェロゴジーと老人看護学《筆頭論文》	単著	1992	青山学院大学大学院（修士論文）	秋山智
3 進行性の言語障害のある患者の看護；QOLとコミュニケーションの関係について	共著	1993	臨床看護・第19巻第12号	上田安代・川上嘉明・秋山智、pp.1741～1746
4 退院指導と在宅看護～より効果的に看護技術指導をするために～《筆頭論文》	単著	1993	厚生省特定疾患「難病のケアシステム」調査研究班平成4年度研究報告	秋山智、pp.413～423
ア 高齢者教育とジェロゴジー《筆頭論文》	単著	1993	治療学・第26巻第6号	秋山智、pp.89
5 新たなる看護教育への道；教師1年生、自らの体験を振り返る中で《筆頭論文》	単著	1994	看護教育・第35巻第1号	秋山智、pp.28～33
6 当校に入学した社会人学生の実態《筆頭論文》	共著	1996	国立療養所東京病院附属看護学校紀要・第1巻	秋山智・小村三千代・永滝幸子・斉藤理恵子・関根龍子、pp9～14
7 看護婦養成所への一般大学卒業者の編入学についての検討	共著	1996	国立療養所東京病院附属看護学校紀要・第1巻	関根龍子・斉藤恵子・斉藤理恵子・平山礼子・林幸子・秋山智、pp27～58
8 脳出血患者の末梢血管組織循環の変調に関する看護；ロイ適応看護モデルの活用《筆頭論文》	共著	1996	月刊ナーシング・第16巻第12号	秋山智・阪本恵子、pp.130～135
9 脳出血患者の末梢血管組織循環の変調に関する看護；松木生活統合モデルの活用《筆頭論文》	共著	1997	月刊ナーシング・第16巻第13号	秋山智・阪本恵子・佐藤福美、pp.200～206

10	脳・神経系疾患患者の看護；脳梗塞(保存的療法)患者の看護を中心に《筆頭論文》	単著	1997	エキスパートナース看護学生版・第6巻第15号	秋山智、pp.9~25
11	内分泌・代謝系疾患患者の看護；NIDDM(インスリン非依存型糖尿病)患者の看護を中心に《筆頭論文》	単著	1997	エキスパートナース看護学生版・第6巻第15号	秋山智、pp. 95~108
12	「皮膚統合性の障害」に関するケア；松木の生活統合体モデルの活用	共著	1997	STOMA・第8巻第1号	阪本恵子・秋山智・大野由紀・北川恵・杉田三枝・藤田抄子・本間和子、pp.22~26
13	脳梗塞患者(回復期)の末梢血管組織循環の変調に関する看護；ロイの適応看護モデルの活用《筆頭論文》	単著	1997	エキスパートナース・第6巻第15号	秋山智、pp. 26~33
14	糖尿病患者(慢性期)の無効な治療計画管理に関する看護；松木の生活統合体モデルの活用《筆頭論文》	単著	1997	エキスパートナース・第6巻第15号	秋山智、pp. 109~118
15	高齢者教育と健康科学との関連についての研究《筆頭論文》	単著	1998	青山学院大学大学院(博士論文)	秋山智
イ	図解で理解病態生理：パーキンソン病《筆頭論文》	単著	1999	プチナース・第8巻第4号	秋山智、pp. 60~63
ウ	図解で理解病態生理：筋萎縮性側索硬化症《筆頭論文》	単著	1999	プチナース・第8巻第5号	秋山智、pp. 60~63
エ	図解で理解病態生理：脊髄小脳変性症《筆頭論文》	単著	1999	プチナース・第8巻第6号	秋山智、pp. 52~55
オ	図解で理解病態生理：クモ膜下出血	共著	1999	プチナース・第8巻第7号	松井英俊・秋山智、pp. 58~61
カ	代表的な救急病態と治療・看護計画；出血性ショック	共著	1999	エマージェンシー・ナーシング 1999年新春増刊・通巻130号	山内栄子・秋山智・白川洋一、pp.86~100
キ	代表的な救急病態と治療・看護計画；熱中症《筆頭論文》	共著	1999	エマージェンシー・ナーシング 1999年新春増刊・通巻130号	秋山智・白川洋一、pp.101~113
ク	代表的な救急病態と治療・看護計画；糖尿病性ケトアシドーシス・高浸透性非ケトン性昏睡《筆頭論文》	共著	1999	エマージェンシー・ナーシング 1999年新春増刊・通巻130号	秋山智・白川洋一、pp.114~126

ケ	図解で理解病態生理：脳腫瘍	共著	2000	プチナース・第9巻第7号	松井英俊・ <u>秋山智</u> 、pp. 52～55
16	Prader-Willi 症候群の子どもを持つ家族の抱える問題とその支援	共著	2001	保健婦雑誌・第57巻第3号	真野祥子・山内栄子・ <u>秋山智</u> ・長尾秀夫・武内八千代・中本直子・井上弘美、pp.212～218
コ	図解で理解病態生理：高血圧性脳出血	共著	2001	プチナース・第10巻第3号	松井英俊・ <u>秋山智</u> 、pp. 62～65
17	愛媛県を中心としたALS患者の実態調査および病診ネットワークの構築	共著	2001	公益信託ALS研究助成基金：助成研究報告・第8巻	山縣英久・ <u>秋山智</u> ・野村拓夫・三木哲郎・山下順章・近藤郁子、pp. 8～22
サ	図解で理解病態生理：脳梗塞	共著	2002	プチナース・第11巻第2号	松井英俊・ <u>秋山智</u> 、pp. 56～59
18	神経難病患者のインターネット・コミュニティ～神経筋難病情報サービス「読者の交流室」の分析を通して～《筆頭論文》(査読有)	共著	2003	日本難病看護学会誌・第7巻第2号	<u>秋山智</u> ・加藤匡宏、pp.129～136、本研究は、インターネット上の神経筋難病情報サービスへの神経難病患者に関する情報を分析し、どのような疾患の患者がどうからい利用しているのか、またどう脳な内容の情報が交換されているのかを明らかにした上で、神経難病患者と家族におけるインターネット・コミュニティの有用性について検討した。
19	神経難病患者の在宅医療・福祉サービスと患者の生活の質に関する研究(第1報)～神経難病患者の生活実態調査～	共著	2003	愛媛大学教育実践総合センター紀要 21	加藤匡宏・向井陽子・相模健人・ <u>秋山智</u> 、pp.151～163
20	神経難病患者の在宅医療・福祉サービスと患者の生活の質に関する研究(第2報)～神経難病患者の介護と臨床心理士の役割～	共著	2003	愛媛大学教育実践総合センター紀要 21	向井陽子・加藤匡宏・相模健人・ <u>秋山智</u> 、pp.165～173
21	生涯教育の視点からの「デス・エデュケーション」の実践的研究～愛媛大学共通教育の授業展開より～《筆頭論文》	共著	2003	愛媛大学教育実践総合センター紀要 21	<u>秋山智</u> ・加藤匡宏、pp.175～189
22	地域生活を送る脊髄小脳変性症A氏の病気への対処行動に関する研究～ライフヒストリー法による分析を通して～《筆頭論文》(査読有)	共著	2003	日本難病看護学会誌・第8巻第2号	<u>秋山智</u> ・中村美佐・加藤匡宏、pp.124～133、本研究では、ライフヒストリー法を用いて、ある脊髄小脳変性症患者の病気への対処行動について明らかにすると共に、神経難病患者における研究方法の意義について検討した。

23	脊髄小脳変性症におけるインターネット・コミュニティ ～神経筋難病情報サービス「読者の交流室」の分析を通して～《筆頭論文》(査読有)	共著	2003	日本難病看護学会誌・第8巻第2号	秋山智・加藤匡宏、pp.104～113、本研究は、インターネット上の神経筋難病情報サービスへの脊髄小脳変性症に関する情報を分析し、なぜ脊髄小脳変性症に関する投稿が多いのかを明らかにした上で、脊髄小脳変性症患者と家族におけるインターネット・コミュニティの有用性について検討した。
24	神経難病患者の在宅医療・福祉サービスの役割と患者の生活の質に関する研究《筆頭論文》	分担共著	2004	平成14～15年度科学研究費補助金(基盤(C)(2))研究成果報告書	秋山智、pp.22～59
25	学生の経験からみた臨床指導の様相に関する研究《筆頭論文》	共著	2005	看護教育・第46巻第2号	秋山智・佐藤一美、pp.110～115
26	神経難病看護～その狭間と盲点～《筆頭論文》	単著	2005	日本難病看護学会誌・第10巻第2号	秋山智、pp.92～96
27	Rett 症候群患児の親の障害受容過程における思いの特徴(査読有)	共著	2005	日本難病看護学会誌・第10巻第2号	姫野深雪・秋山智・中浦豪太・岩原孝子・友瀬仁美、pp.106～116、本研究は、Rett 症候群患児の親が障害受容過程で抱く思いを明らかにすることを目的とし、Rett 症候群患児の親の障害受容過程における看護のあり方を検討した。
28	北九州市における企業の男性産業看護職についてのジェンダーに関する要因	共著	2005	平成16年度ジェンダー研究調査・研究支援事業報告書	姫野深雪・秋山智・中浦豪太、pp.31～63
29	若年性パーキンソン病患者の生活の現状に関する研究《筆頭論文》	単著	2006	平成17年度難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者のQOLの向上に関する研究」班報告書	秋山智、pp.70～76
シ	若年性パーキンソン病患者の生活の現状に関する研究《筆頭論文》	単著	2006	平成17年度地域における看護支援に関する研究報告集	秋山智、pp.23～34
30	若年性パーキンソン病患者の生活の現状に関する調査《筆頭論文》	単著	2007	平成18年度難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者のQOLの向上に関する研究」班報告書	秋山智、pp.20～29

ス	若年性パーキンソン病患者の生活の現状に関する調査《筆頭論文》	単著	2007	平成 18 年度地域における看護支援に関する研究報告集	秋山智、pp.1～10
31	神経難病患者の発病から退職に至るまでの就業中の経験に関する質的研究《筆頭論文》	単著	2007	平成 16～18 年度科学研究補助金(基盤研究 C) 研究成果報告書	秋山智 本研究では、神経難病患者の発病から退職に至るまでの就業中の経験の総体について明らかにし、産業保健の視点から看護上の示唆を得た。本研究の特徴は対象者のライフヒストリー中において、自身の神経難病の発病、確定診断、症状の進行、そして退職至る経過の中で対象者が経験した「就業に対する行動や経験」について概念化し、その総体を解明する因子探索レベルの研究である。
32	臨地実習における学生の学び	共著	2007	インターナショナル Nursing Care Research ・第 6 巻第 1 号	石井俊行・坪井敬子・岡本裕子・坂村八恵・秋山智、pp.51～58 目的:成人慢性期看護学実習終了後の学生の学びを分析し、今後の臨地実習指導に向けての改善点、示唆を得る。方法:学生による患者のケースレポート「実習の学び」より学生の学びと思われる点を抽出し、質的な検討を行った。 結果、A 大学における成人慢性期看護学実習における学生の学びのカテゴリは、「慢性疾患をもつ対象者の状態に合わせた看護」、「慢性期に特徴的なケア」、「看護に共通する基本姿勢」、「実践からの気づき」の 4 つであった。今回ケースレポートを分析、検討することにより、学生をチームで学ばせていくための課題や学生が患者の自己決定へ向けての支援、QOL の視点について取り組むことができるよう支援する必要性が明らかになった。
33	難病患者から見た医療・看護(1)・若年性パーキンソン病をもつ人々の世界《筆頭論文》	単著	2008	臨床老年看護・第 15 巻第 1 号	秋山智、pp.118～123
34	成人看護学実習前の看護技術演習の効果	共著	2008	第 38 回日本看護学会論文集(看護教育)	石井俊行・岡本裕子・坪井敬子・坂村八恵・深堀美紀子・秋山智、pp.305～307 本研究は調査研究であり、実習前看護技術演習が臨地実習での援助に役立ったか、また今後の改善点について明らかにすることを目的としている。実習の後半期の学生を除く 40 名が対象者であった。特に実習開始後すぐの学生とそうでない学生の間には技術演習の効果について差があることが予想されたが、看護技術の項目別平均点では両群に有意差はなかった。また「身体の清潔」、「身体の可動や移動」、「衣服を整える」という、演習室での実施や評価が容易な項目の得点は、各項目 5 点満点で 4.5 以上であった。 実施・計画した技術項目は学生が考えた演習項目とほぼ一致していたが、12.5%の学生はあまり役立たなかったと回答していたが、実習前の看護技術演習に関する学生の要望は高く、実習期間に関わらず多くの学生が看護技術演習に参加できる環境を整えること、臨地を想定した演習内容や指導の工夫の必要性が示唆された。

35	入室経路の違いによるICU 入室患者の家族のニードとコーピングに関する調査 CNS-FACE に基づく分析を通して	共著	2008	日本看護学会 論文集第 38 号 (成人看護 I)	大上晋太郎・中下恵・ <u>秋山智</u> ・岡本裕子、pp.39～41 ICU における入室経路別の家族のニード・コーピングを CNS-FACE を使用により明らかにした。2 日以上入室した 61 例の患者の面会に訪れた全家族 81 例を対象とした。情報・保証のニードが経過と共に低下するのに対し、接近のニードは経過と共に上昇した。平均 ICU 入室日数を比べてみると緊急入室患者のほうが ICU での治療期間が長く、重症度が高かった。入室経路を問わず、問題志向的コーピングが情動的コーピングより高い数値を示した。入室時より ICU 入室患者の家族の情報・保証のニードは高く、両者を満たす上で情報提供は重要で、接近のニードを高め、満たすためには情報・保証のニードを満たし、家族が安心してそばにいられるよう援助していく必要があった。家族のコーピング値は入室経路を問わず問題志向的コーピングが高く、ストレスフルな状態が持続した。
36	若年性パーキンソン病患者の生活の現状に関する調査～特に出産と育児を中心とした状況について～《筆頭論文》	単著	2008	平成 19 年度難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者の QOL の向上に関する研究」班報告書	<u>秋山智</u> 、pp.17～21
セ	若年性パーキンソン病患者の生活の現状に関する調査～特に出産と育児を中心とした状況について～《筆頭論文》	単著	2008	平成 19 年度地域における看護支援に関する研究報告集	<u>秋山智</u> 、pp.1～7
37	若年性パーキンソン病患者の生活の現状に関する質的研究～患者聞き取り調査を通して～《筆頭論文》	単著	2008	平成 17～19 年度難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者の QOL の向上に関する研究」班報告書	<u>秋山智</u> 、pp.13～22
ソ	難病患者から見た医療・看護(2)・私が私らしく生きるために《筆頭論文》	共著	2008	臨床老年看護・第 15 巻第 2 号	<u>秋山智</u> ・木下広子、pp.120～125
38	特定疾患患者の生活の質(QOL)の向上に関する研究・若年性パーキンソン病患者の生活の現状に関する研究《筆頭論文》	単著	2008	平成 17～19 年厚生労働科学研究費助成金難治性疾患克服研究事業分担研究成果報告書	<u>秋山智</u>
タ	難病患者から見た医療・看護(3)・親として《筆頭論文》	共著	2008	臨床老年看護・第 15 巻第 3 号	<u>秋山智</u> ・岡田行美、pp.118～123
チ	難病患者から見た医療・看護(4)・白衣をパジャマに着替えて《筆頭論文》	共著	2008	臨床老年看護・第 15 巻第 4 号	<u>秋山智</u> ・橋爪鈴男、pp.120～125

ツ	難病患者から見た医療・看護(5)・若年性パーキンソン病と結婚・出産・子育て《筆頭論文》	共著	2008	臨床老年看護・第15巻第5号	秋山智・藤木五月、pp.116～126
テ	難病患者から見た医療・看護(6)・頑張ればきっとできる《筆頭論文》	共著	2008	臨床老年看護・第15巻第6号	秋山智・野上輝明、pp.113～118
39	充実した療養生活を送るためのケアの技術～若年性パーキンソン病患者と語る～《筆頭論文》	単著	2008	日本難病看護学会誌・第13巻第2号	秋山智、pp. 139-140
40	気管吸引の技術習得に関する研究～臨地実習における看護学生の見学・実施の実態調査	共著	2009	日本看護学会論文集第38号(看護総合)	深堀美紀子・坪井敬子・坂村八恵・岡本裕子・秋山智、pp236～238
41	親子間腎移植患者の移植に関連した心理～子から親への移植のケースを通して～	共著	2009	第42回日本腎移植学会看護部門集録集	空本奈緒・吉山琴美・永田真澄・木原智恵美・岡本裕子・秋山智、pp.56～59
42	難病患者の就労支援と経済問題～自己に出来ることを理解し社会貢献を～《筆頭論文》	単著	2009	難病と在宅ケア・第14巻10号	秋山智、pp.8～13
ト	難病患者から見た医療・看護(7)・若年発症のパーキンソン病《筆頭論文》	共著	2009	臨床老年看護・第16巻第1号	秋山智・岡田芳子、pp.107～114
ナ	難病患者から見た医療・看護(8)・パーキンソン病と子育て《筆頭論文》	共著	2009	臨床老年看護・第16巻第2号	秋山智・舟波真美、pp.114～118
43	若年性パーキンソン病患者の生活の現状と諸問題に関する研究～遺伝看護の視点から～《筆頭論文》	単著	2009	平成20年度難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者のQOLの向上に関する研究」班報告書	秋山智、pp.12～17
44	神経難病看護師(仮称)育成プログラムに関する検討	共著	2009	平成20年度難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者のQOLの向上に関する研究」班報告書	川村佐和子・小倉朗子・藤田美江・小西かおる・牛込三和子・牛久保美津子・秋山智・他、pp.74～75

45	神経難病療養者への訪問看護の提供体制の整備に関する研究	共著	2009	平成20年度難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者のQOLの向上に関する研究」班報告書	松下祥子・小倉朗子・村田加奈子・牛込三和子・川村佐和子・本田彰子・牛久保美津子・ <u>秋山智</u> ・他、pp.127～129
ニ	若年性パーキンソン病患者の生活の現状と諸問題に関する研究～遺伝看護の視点から～《筆頭論文》	単著	2009	平成20年度地域における看護支援に関する研究報告集	<u>秋山智</u> 、pp.1～7
ヌ	神経難病看護師(仮称)育成プログラムに関する検討	共著	2009	平成20年度地域における看護支援に関する研究報告集	川村佐和子・小倉朗子・藤田美江・小西かおる・牛込三和子・牛久保美津子・ <u>秋山智</u> ・他、pp.23～24
46	新卒看護師の専門職者としての自身体験	共著	2009	広島国際大学看護学ジャーナル第6巻第1号	坂村八恵・岡本裕子・坪井敬子・ <u>秋山智</u> ・石井俊行、pp.47～56
ネ	難病患者から見た医療・看護(9)若年性パーキンソン病の患者組織《筆頭論文》	共著	2009	臨床老年看護・第16巻第3号	<u>秋山智</u> ・舟波真美・橋爪鈴男・清徳保雄、pp.112～119
ノ	難病患者から見た医療・看護(10)男性患者の苦悩・負けない理由《筆頭論文》	共著	2009	臨床老年看護・第16巻第4号	<u>秋山智</u> ・古賀敏彦・根本和浩、pp.114～119
ハ	難病患者から見た医療・看護(11)病気が私を覆っていても《筆頭論文》	共著	2009	臨床老年看護・第16巻第5号	<u>秋山智</u> ・阿刀田俊子、pp.112～116
ヒ	難病患者から見た医療・看護(12)人生の先輩からのメッセージ《筆頭論文》	共著	2009	臨床老年看護・第16巻第6号	<u>秋山智</u> ・徳永武重、pp.112～117
47	難病看護と遺伝～看護職として出来ること	共著	2009	日本難病看護学会誌・第14巻第2号	武藤香織・柊中智恵子・ <u>秋山智</u> 、pp.135-136
フ	難病患者から見た医療・看護(13)若年性パーキンソン病患者と社会組織《筆頭論文》	共著	2010	臨床老年看護・第17巻第1号	<u>秋山智</u> ・浜田朋子、pp.91～97
ヘ	若年性パーキンソン病患者のQOL評価～SEIQoL-DWによる経時的な変化の分析を通して～《筆頭論文》	共著	2010	平成21年度地域における看護支援に関する研究報告集	<u>秋山智</u> ・岡本裕子、pp.10～17

ホ	神経難病看護師（仮称） 育成のためのプログラム に関する検討	共著	2010	平成 21 年度地 域における看 護支援に関す る研究報告集	藤田美江・川村佐和子・小倉朗子・ <u>秋 山智</u> ・小森哲夫・他、pp.18～20
マ	訪問看護ステーション の神経難病療養者の受 け入れと提供体制に関 する研究	共著	2010	平成 21 年度地 域における看 護支援に関す る研究報告集	松下祥子・小倉朗子・村田加奈子・牛 込三和子・川村佐和子・ <u>秋山智</u> ・他、 pp.21～27
48	若年性パーキンソン病 患者の QOL 評価～ SEIQoL-DW による経 時的な変化の分析を通 して～《筆頭論文》	共著	2010	平成 21 年度難 治性疾患克服 研究事業「特定 疾患患者の QOL の向上に 関する研究」班 報告書	<u>秋山智</u> ・岡本裕子、pp.15～19
49	神経難病の長期療養生 活を支える施設滞在型サ ービス事例	共著	2010	平成 21 年度難 治性疾患克服 研究事業「特定 疾患患者の QOL の向上に 関する研究」班 報告書	牛小保美津子・川村佐和子・小倉朗子・ <u>秋山智</u> ・本田彰子・牛込三和子・他、 pp.33～35
50	訪問看護ステーション の神経難病療養者の受 け入れと提供体制に関 する研究	共著	2010	平成 21 年度難 治性疾患克服 研究事業「特定 疾患患者の QOL の向上に 関する研究」班 報告書	松下祥子・小倉朗子・牛込三和子・川 村佐和子・本田彰子・牛久保美津子・ <u>秋山智</u> ・藤田美江・村田加奈子・他、 pp.132～138
51	神経難病看護師（仮称） 育成のためのプログラ ムに関する検討	共著	2010	平成 21 年度難 治性疾患克服 研究事業「特定 疾患患者の QOL の向上に 関する研究」班 報告書	藤田美江・川村佐和子・小倉朗子・ <u>秋 山智</u> ・小森哲夫・他、pp.156～158
52	看護学生の臨床実習環 境とストレス・コーピン グに関する実態研究調 査（査読有）	共著	2010	広島国際大学 看護学ジャー ナル・第 7 巻第 1 号	小笠原知枝・吉岡さおり・山本洋美・ <u>秋山智</u> ・江口瞳・片山はるみ・長谷川 智子、pp.3～13
53	透析時間延長に対する 患者の思い～時間延長 を承諾しない患者へのイ ンタビューから（査読有）	共著	2010	広島国際大学 看護学ジャー ナル・第 7 巻第 1 号	神開知子・的場省二、山田香織・ <u>秋山 智</u> ・岡本裕子、pp.37～45、 本研究では、透析時間の時間の延長を 承諾しない患者の透析時間延長に対す る思いを明らかにし、今後の療養支援 に関する示唆を得た。

54	親子間腎移植におけるドナーとレシピエントの心理的様相に関する事例研究～子から親への移植のケースを通して～（査読有）	共著	2010	広島国際大学看護学ジャーナル・第7巻第1号	空本奈緒・吉山琴美・永田真澄・木原智恵美・ <u>秋山智</u> ・岡本裕子、pp.47～56、親子間腎移植におけるドナーとレシピエントの心理的様相に関する事例研究を行った。このケースでは子から親への移植であり、それぞれに思いについて明らかにし、看護への示唆を得た。
55	若年性パーキンソン病患者のQOLに関する研究～SEIQoL-DWによる評価～《筆頭論文》（査読有）	共著	2010	日本難病看護学会誌・第14巻第3号	<u>秋山智</u> ・岡本裕子、pp.169～177、若年性パーキンソン病患者のQOLについて、SEIQoL-DWを経年的に実施し、そこからQOLが下がった要因、及び上がった要因を分析し、QOL向上に向けてのケアについての示唆を得た。
ミ	難病患者から見た医療・看護(14)私の職歴は病歴と共にあり《筆頭論文》	共著	2010	臨床老年看護・第17巻第3号	<u>秋山智</u> ・原田美和子、pp.70～77
56	若年性神経難病患者の“社会との接点”と“SEIQoL-DW”との関連に関する研究《筆頭論文》	単著	2010	平成19～22年度科学研究補助金(基盤研究C)研究成果中間報告書	<u>秋山智</u>
ム	難病患者から見た医療・看護(15)今を生きる喜びとオルゴールでつながる絆《筆頭論文》	共著	2010	臨床老年看護・第17巻第4号	<u>秋山智</u> ・辻井裕美、pp.104～111
メ	難病患者から見た医療・看護(16)今を精一杯生きていたい《筆頭論文》	共著	2010	臨床老年看護・第17巻第5号	<u>秋山智</u> ・久保田容子、pp.111～119
57	難病患者から見た医療・看護(17)若年性パーキンソン病患者の生活の現状と諸問題《筆頭論文》	単著	2010	臨床老年看護・第17巻第6号	<u>秋山智</u> 、pp.87～103
58	Actual condition of disease disclosure of the Early-Onset Parkinson's disease patients to circumference people	共著	2010	Role Expansion of Nurses and Improvement of Professional Status, 2010	Yuko Okamoto, <u>Satoru Akiyama</u> , Yae Sakamura, Takaaki Kaminishi, pp.47～48
59	難病看護と遺伝～看護職としての支援《筆頭論文》	共著	2010	日本難病看護学会誌・第15巻第2号	<u>秋山智</u> ・武藤香織・柗中智恵子、pp.120-121

60	気管・口鼻腔吸引の技術修得に関する研究－臨地実習における看護学生の経験の2年間の実態調査から	共著	2010	第40回日本看護学会論文集－看護総合－	深堀美紀子, 坪井敬子, <u>秋山智</u> , 岡本裕子, 坂村八恵, 383－385.
61	気管吸引の技術演習方法の検討 デモンストラーションとロールプレイ取り入れ後の学生の自己評価	共著	2010	第40回日本看護学会論文集－看護教育－	深堀美紀子, 坪井敬子, <u>秋山智</u> , 岡本裕子, 坂村八恵, 191－193.
62	若年性神経難病患者の“社会との接点”と“SEIQoL-DW”との関連に関する研究《筆頭論文》	単著	2011	平成19～22年度科学研究補助金(基盤研究C)研究成果報告書	<u>秋山智</u> 本研究は、若年性神経難病患者のQOLの向上を目的とした。その指標としてSEIQoL-DWを原則として年に一回づつ50名の対象者に実施し、前年と比較して値の変化の大きいケースの原因を検討した。下降したケース、上昇したケース共に、家族関係の状況が値の変化に大きく影響していた。また仕事や患者会等の社会との接点といった状況もQOLを上下させる重要なものであった。
63	若年性パーキンソン病患者の生活の現状と諸問題に関する研究～3年間のまとめ～《筆頭論文》	単著	2011	厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者におけるQOLの向上に関する研究班」平成20年度～22年度総合研究報告書	<u>秋山智</u> 、pp.17～23
64	在宅神経難病療養者の長期療養生活を補完する施設のあり方に関する研究	共著	2011	厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者におけるQOLの向上に関する研究班」平成20年度～22年度総合研究報告書	牛小保美津子・川村佐和子・小倉朗子・ <u>秋山智</u> ・本田彰子・牛込三和子・他、pp.38～40
65	訪問看護ステーションの神経難病療養者の受け入れと提供体制に関する研究、および神経系難病療養者における呼吸障害の看護評価に関する研究	共著	2011	厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者におけるQOLの向上に関する研究班」平成20年度～22年度総合研究報告書	松下祥子・小倉朗子・牛込三和子・川村佐和子・本田彰子・牛久保美津子・ <u>秋山智</u> ・藤田美江・村田加奈子・他、pp.157～158

66	神経難病看護師（仮称）育成のための教育プログラムに関する検討	共著	2011	厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者における QOL の向上に関する研究班」平成 20 年度～22 年度総合研究報告書	藤田美江・川村佐和子・小倉朗子・ <u>秋山智</u> ・小森哲夫・他、pp.202～204
67	若年性パーキンソン病患者の QOL 評価～SEIQoL-DW による 4 年間の継続評価の分析を通して～《筆頭論文》	共著	2011	厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者における QOL の向上に関する研究班」平成 22 年度総括・分担研究報告書	<u>秋山智</u> ・岡本裕子・上西孝明、pp.19～25
68	神経難病看護師（仮称）育成のためのプログラムに関する検討(第 3 報)	共著	2011	厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者における QOL の向上に関する研究班」平成 22 年度総括・分担研究報告書	藤田美江・川村佐和子・小倉朗子・ <u>秋山智</u> ・小森哲夫・他、pp.232～234
モヤエヨラリ	63～68 に同じ		2011	平成 22 年度地域における看護支援に関する研究報告集	
69	難病患者の就労支援と経済問題～若年性パーキンソン病患者 A さんの事例を通して～《筆頭論文》	単著	2011	厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者における QOL の向上に関する研究班」平成 22 年度分担研究報告書（看護グループ別冊）	<u>秋山智</u> 、pp.60～66
70	若年性パーキンソン病患者と社会保障《筆頭論文》	単著	2011	厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者における QOL の向上に関する研究班」平成 22 年度分担研究報告書（看護グループ別冊）	<u>秋山智</u> 、pp.67～71

71	患者組織について～若年性パーキンソン病患者の患者組織を中心に～《筆頭論文》	単著	2011	厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者における QOL の向上に関する研究班」平成 22 年度分担研究報告書（看護グループ別冊）	秋山智、pp.72～84
72	若年患者の理解と支援～若年性パーキンソン病患者の生活の現状と諸問題～《筆頭論文》	単著	2011	厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者における QOL の向上に関する研究班」平成 22 年度分担研究報告書（看護グループ別冊）	秋山智、pp.85～93
ル	発達課題の達成:神経難病看護;知の体系化《筆頭論文》	共著	2012	厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「希少性難治性疾患患者に関する医療の向上研究班」平成 23 年度報告書	秋山智、pp.14～15
レ	就労の支援:神経難病看護;知の体系化《筆頭論文》	共著	2012	厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「希少性難治性疾患患者に関する医療の向上研究班」平成 23 年度報告書	秋山智、pp.60～61
73	看護研究と実践の相互作用～SEIQoL-DW をもちいた看護実践を通して～	単著	2014	北日本看護学会誌・第 16 巻 2 号	秋山智、pp.5～8
74	難病患者の社会参加と生活設計 SEIQoL-DW から見えてきた若年性パーキンソン病患者の QOL	単著	2014	日本難病看護学会誌・第 19 巻 2 号	秋山智、pp. 104～107
ロ	第19回日本難病看護学会を終えて	単著	2014	広島国際大学看護学ジャーナル・第 12 巻 第 1 号	秋山智、pp. 35～50
ワ	難病看護における看護診断	単著	2017	看護診断・第 22 巻 第 1 号	秋山智、pp. 34～39

75	看護大学生の統合看護学実習における緩和ケア病棟での学び	共著	2017	看護・保健科学研究誌・第12巻1号	竹山広美, 岡本裕子, 野間雅衣, <u>秋山智</u> , pp. 92~100
76	中国残留日本人孤児とその配偶者の予防的保健行動～関連要因の検証～(査読有)	共著	2017	広島国際大学看護学ジャーナル・第15巻第1号	網脇慎治・ <u>秋山智</u> ・西川まり子, pp. 3~16
77	自己の死への意識から見た非医療従事者の死生観(査読有)	共著	2017	広島国際大学看護学ジャーナル・第15巻第1号	杉野美和・ <u>秋山智</u> , pp. 31~46
78	SEIQoL-DW を経時的に用いての若年性パーキンソン病患者の QOL 分析	単著	2018	MSD(Medical Science Digest)Vol.44 .No.3	<u>秋山智</u> , pp. 64~65
78 ②	SEIQoL-DW を経時的に用いての若年性パーキンソン病患者の QOL 分析	単著	2018	別冊 BIOclinica, Vol.7, No.2	<u>秋山智</u> , pp. 140~141 (78 番からの転載)
79	SEIQoL-DW を経時的に用いての若年性パーキンソン病患者の QOL 評価	単著	2018	BIO Clinica, 33(8)	<u>秋山智</u> , pp. 74~78
7	若年性パーキンソン病患者の生活の現状と課題～これまでの研究成果から～	単著	2018	日本難病看護学会誌, 23(2)	<u>秋山智</u> , pp. 150~151
80	パーキンソン病における食事・服薬についての効果的な看護介入～嚥下と吸収の消化器機能に着目して～(査読有)	共著	2019	広島国際大学看護学ジャーナル, 16(1)	北本愁, <u>秋山智</u> , pp.39-51.
81	若年性パーキンソン病患者の QOL 評価—SEIQoL-DW を経時的に用いて—	単著	2019	Precision Medicine, 2(7)	<u>秋山智</u> , pp. 80~84
81 ②	若年性パーキンソン病患者へのケアリング—SEIQoL-DW を経時的に用いて—	単著	2019	Precision Medicine , 2(13)	<u>秋山智</u> , pp. 78~82 (81 番からの転載)
82	パーキンソン病患者の嗅覚障害による日常生活への影響と看護援助(査読有)	共著	2020	広島国際大学看護学ジャーナル, 17(1)	<u>秋山智</u> , 岡本裕子, 新田亮子, 平岡正史 pp. 3~15.
83	パーキンソン病患者の嗅覚障害とケア	単著	2020	BIO Clinica, 35(8)	<u>秋山智</u> , pp. 79~82

83 ②	パーキンソン病患者の嗅覚障害の現状と対処法	単著	2020	別冊 BIOclinica, Vol.7, No.2	秋山智, pp. 132~135 (83 番からの転載)
84	SEIQoL-DW による 13 年間の変化からみた若年性 PD 病患者の QOL の特徴	単著	2021	BIO Clinica, 36(9)	秋山智, pp. 83~87
	数字は、学術論文(84) アイ・は、総説・解説・特集等 (45)、計 129				
(学会発表)					
1	継続看護への一考察～ある退院指導を通して地域への連携を考える～《筆頭》	共著	1984.11	第 39 回国立病院療養所総合医学会 (大阪)	秋山智・長岡順子・沼倉加代子・藤城幸恵・美浦恵子・後藤陽子
2	地域との連携で退院指導を試みて	共著	1988.11	第 43 回国立病院療養所総合医学会 (愛媛)	三浦亮子・谷口治子・最首智子・秋山智・斉藤めぐみ・北村ユウ子
3	退院指導と在宅看護～より効果的に看護技術指導をするために～《筆頭》	単著	1992.8	厚生省特定疾患「難病のケア・システム」調査研究班平成 4 年度ワークショップ (シンポジウム) (東京)	秋山智
4	実習経験録の分析による今後の実習のあり方の検討	共著	1993.11	第 48 回国立病院療養所総合医学会 (仙台)	川野元子・関根龍子・斉藤恵子・秋山智
5	当校に入学した社会人学生の実態《筆頭》	共著	1994.11	第 49 回国立病院療養所総合医学会 (長崎)	秋山智・小村三千代・永滝幸子・斉藤理恵子・関根龍子
6	食道穿孔縫合閉鎖後、難治性瘻孔をきたした患者の「皮膚統合性の障害」に関するケア；松木の生活統合モデルの活用	共著	1996.9	第 10 回中国四国ストーマリハビリテーション研究会 (米子)	藤田抄子・大野由紀・北川恵・杉田三枝・本間和子・阪本恵子・秋山智
7	直腸癌術後局所再発し、難治性瘻孔をきたした患者の「皮膚統合性の障害」に関するケア；ロイ適応看護モデルの活用	共著	1996.9	第 10 回中国四国ストーマリハビリテーション研究会 (米子)	阪本恵子・秋山智・大野由紀・北川恵・杉田三枝・藤田抄子・本間和子

8	インターネットを活用した「神経難病ネットワーク」設立の試み《筆頭》	共著	1999.8	第4回日本難病看護学会学術集会(神奈川)	<u>秋山智</u> ・塩田みどり
9	愛媛県における難病対策向上のための試み～公私の試みの一体化を視野に入れて～《筆頭》	共著	2000.8	第5回日本難病看護学会学術集会(東京)	<u>秋山智</u> ・塩田みどり
10	中国・四国・九州難病医療専門員研修会の報告と展望	共著	2000.8	第5回日本難病看護学会学術集会(東京)	岩木三保・山田猛・武藤香織・ <u>秋山智</u> ・藤井正吾・山田扶美・吉良潤一
11	愛媛県におけるALS患者の疫学と医療状況に関する調査	共著	2000.12	第69回日本神経学会地方会(香川)	橋本司・山縣英久・野村拓夫・小原克彦・三木哲郎・ <u>秋山智</u>
12	中国・四国・九州難病医療専門員研修会の報告と展望(第2報)～西日本難病医療ネットワーク連絡会の設立～	共著	2001.8	第6回日本難病看護学会学術集会(群馬)	岩木三保・関本聖子・友松幸子・藤井正吾・廣瀬喜代子・ <u>秋山智</u> ・吉良潤一
13	愛媛県におけるALS患者の実態～共分散構造分析(AMOS)による検討～	共著	2002.3	第72回日本衛生学会総会(三重)	山縣英久・近藤郁子・ <u>秋山智</u> ・野村拓夫・三木哲郎・吉村脩
14	神経難病患者のインターネット・コミュニティ～神経筋難病情報サービス「読者の交流室」の分析を通して～《筆頭》	共著	2002.8	第7回日本難病看護学会学術集会(東京)	<u>秋山智</u> ・加藤匡宏
15	地域生活を送る脊髄小脳変性症A氏の病気への対処行動に関する研究～ライフヒストリー法による分析を通して～《筆頭》	共著	2002.8	第7回日本難病看護学会学術集会(東京)	<u>秋山智</u> ・中村美佐・加藤匡宏
16	脊髄小脳変性症B氏にとっての仕事の意味～ライフヒストリー法による解釈～	共著	2002.8	第33回日本看護学会(成人看護Ⅱ)(愛媛)	中村美佐・ <u>秋山智</u>
17	Origins of the myotonic dystrophy mutation: worldwide study in the CEPH-Human Genome Diversity Project	共著	2003.4	4th International Myotonic Dystrophy Consortium Meeting (Glasgow, Scotland.)	Hidehisa Yamagata・ <u>Satoru Akiyama</u> ・Yusen Chen・Ikuko Kondo・Tetsuro Miki
18	脊髄小脳変性症におけるインターネット・コミュニティ～神経筋難病情報サービス「読者の交流室」の分析を通して～《筆頭》	共著	2003.8	第8回日本難病看護学会学術集会(東京)	<u>秋山智</u> ・加藤匡宏

19	学生の経験からみた臨床指導の様相に関する研究《筆頭》	単著	2003.8	第13回日本看護学教育学会学術集会(長野)	<u>秋山智</u>
20	筋強直性ジストロフィー1型(DM1)遺伝子の世界起源について・-CEPHヒトゲノム多様性プロジェクト	共著	2003.10	日本人類遺伝子学会第48回大会(長崎)	山縣英久・ <u>秋山智</u> ・陳コウ森・三木哲朗・近藤郁子
21	民間医療施設の労働衛生の現状と課題	共著	2003.10	第21回産業医科大学学会(福岡)	中浦豪太・尾崎充・柴田弘子・ <u>秋山智</u> ・金山正子
22	Progress toward the identification of origins of the myotonic dystrophy type 1 mutation: worldwide study in the CEPH-Human Genome Diversity Project	共著	2003.11	The AMERICAN SOCIETY OF HUMAN GENETICS 53h Annual Meeting (Los Angeles, California, USA)	T. Miki・H. Yamagata・ <u>S. Akiyama</u> ・Y. Chen・K. Kohara・I. Kondo
23	ステロイド療法を受けている天疱瘡患者の療養における思いの変化・～「難病仲間」HPの闘病記5事例の分析を通して～	共著	2004.8	第9回日本難病看護学会学術集会(名古屋)	中浦豪太・田村早苗・ <u>秋山智</u> ・姫野深雪
24	Rett症候群患児の親の障害受容課程における思いの特徴・～HPの記載の内容分析から～	共著	2004.8	第9回日本難病看護学会学術集会(名古屋)	姫野深雪・ <u>秋山智</u> ・中浦豪太・岩原孝子・友瀬仁美
25	北九州市における企業の男性産業看護職についてのジェンダーに関する要因	共著	2005.7	第8回北九州MOOV研究発表会(福岡)	姫野深雪・ <u>秋山智</u> ・中浦豪太
26	看護系大学における男性看護教員の実態とキャリア形成(その1)～キャリア形成の視点から～	共著	2005.7	第15回日本看護学教育学会(埼玉)	姫野深雪・ <u>秋山智</u> ・中浦豪太
27	看護系大学における男性看護教員の実態とキャリア形成(その2)～ジェンダーの視点から～	共著	2005.7	第15回日本看護学教育学会(埼玉)	中浦豪太・ <u>秋山智</u> ・姫野深雪
28	神経難病看護: その狭間と盲点(会長講演)《筆頭》	単著	2005.9	第10回日本難病看護学会学術集会(福岡)	<u>秋山智</u>
29	ALS患者にとってのHP開設の意義とその特徴	共著	2005.9	第10回日本難病看護学会学術集会(福岡)	本田由香利・福井真理子・岩尾祐里・姫野深雪・中浦豪太・ <u>秋山智</u>
30	体障害者療護施設におけるALS入所者のケア	共著	2005.9	第10回日本難病看護学会学術集会(福岡)	吉田哲・中村政子・ <u>秋山智</u>

31	筋萎縮性側索硬化症患者の在宅療養に向けた退院計画の検討	共著	2005.9	第10回日本難病看護学会学術集会(福岡)	橋本明実・渡辺重子・田代明子・松本妙子・神城佳誉子・友瀬仁美・ <u>秋山智</u>
32	若年性パーキンソン病患者の生活の現状に関する研究《筆頭》	単著	2006.1	平成17年度難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者のQOLの向上に関する研究」班研究報告会(東京)	<u>秋山智</u>
33	ある若年性パーキンソン病患者の職業経験に関する研究《筆頭》	単著	2006.8	第11回日本難病看護学会学術集会(北海道)	<u>秋山智</u>
34	パーキンソン病友の会福岡県支部若年部会の試み《筆頭》	単著	2006.8	第11回日本難病看護学会学術集会(北海道)	<u>秋山智</u>
35	若年性パーキンソン病患者の生活の現状に関する調査《筆頭》	単著	2006.12	平成18年度難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者のQOLの向上に関する研究」班研究報告会(東京)	<u>秋山智</u>
36	成人看護学実習前の看護技術演習の効果	共著	2007.8	第38回日本看護学会(看護教育)(千葉)	石井俊行・岡本裕子・坪井敬子・坂村八恵・深堀美紀子・ <u>秋山智</u>
37	若年性パーキンソン病患者のQOLに関する研究～SEIQoL-DWによる評価～《筆頭》	共著	2007.8	第12回日本難病看護学会学術集会(青森)	<u>秋山智</u> ・岡本裕子 若年性パーキンソン病患者は病気を隠して生活している人が多く、就業問題をはじめ若年である故の悩みや問題があるのが事実である。今回、若年患者の生活の質(QOL)についてSEIQoL-DWの視点で明らかにし、その生活の特長について考察した。結果、18名の対象者のうち仕事を継続している人は5名で就業継続の困難さが伺えた。しかし、患者の主観的なQOLを示すindex値は全体に高く、今回の対象者が患者会活動などに関わっていることとの関連が示唆された。また、家族や健康、仕事、趣味などの影響もあった。逆に最も低いのは経済面であった。 SEIQoL-DWの値は患者の主観をよく反映し、その個体差をデータをして把握しやすいため、継続的に用いながら個々の患者のデータの内容や値に注意しつつ、人生の再構築ともいえる「ナラティブの書き換え」をしていくことの重要性が示唆された。
38	パーキンソン病友の会福岡県支部若年部会の活動～SEIQoL-DWによる評価～《筆頭》	単著	2007.8	第12回日本難病看護学会学術集会(青森)	<u>秋山智</u>
39	若年性パーキンソン病患者の就業経験の総体に関する研究《筆頭》	単著	2007.8	第12回日本難病看護学会学術集会(青森)	<u>秋山智</u>

40	入室経路の違いによる 当院 ICU 入室患者の家族の ニードとコーピングに関する 調査～ CNS-FACE に基づく 分析を通して～	共著	2007.10	第 38 回日本看護学会(成人看護 I) (札幌)	大上晋太郎・岡本裕子・ <u>秋山智</u> A 病院 ICU における入室経路別の家族のニード・コーピングを CNS-FACE 使用により明らかにし、看護援助の手がかりとしたと考えた。A 病院 ICU に 2 日以上入室し、同意が得られた家族 81 名を対象とした。 アンケートと面談内容を総合すると、ICU 入室患者の家族の「情報・保障のニード」は高く、情報提供の重要性が伺われた。また、家族のコーピング値は入室経路を問わず「問題志向的コーピング」が高く、ストレスフルな状態が持続していることがわかった。「接近のニード」を高め満たすためには、家族が安心してそばにいられるよう援助していく必要性が示唆された。
41	若年性パーキンソン病患者の生活の現状に関する調査～特に出産と育児を中心とした状況について～《筆頭》	単著	2007.12	平成 19 年度難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者の QOL の向上に関する研究」班研究報告会(東京)	<u>秋山智</u>
42	気管・口腔吸引の技術習得に関する研究～臨地実習における看護学生の見学・実施の実態調査～	共著	2008.7	第 39 回日本看護学会(看護総合) (金沢)	深堀美紀子・坪井敬子・坂村八恵・岡本裕子・ <u>秋山智</u>
43	実習前技術演習の効果と学生の学習ニーズ	共著	2008.8	日本看護学教育学会第 18 回学術集会(筑波)	岡本裕子・坂村八恵・ <u>秋山智</u> ・深堀美紀子・坪井敬子・石井俊行
44	新卒看護師 1 年目の体験～自立過程を中心に～	共著	2008.8	日本看護学教育学会第 18 回学術集会(筑波)	坂村八恵・坪井敬子・岡本裕子・ <u>秋山智</u> ・石井俊行・深堀美紀子
45	若年性パーキンソン病患者の出産と育児に対する思い～《筆頭》	共著	2008.8	第 13 回日本難病看護学会学術集会(東京)	<u>秋山智</u> ・岡本裕子
46	SEIQoL-DW を用いた若年性パーキンソン病患者の理解～失業状態の 2 例の男性患者の比較～	共著	2008.8	第 13 回日本難病看護学会学術集会(東京)	岡本裕子・ <u>秋山智</u>
47	充実した療養生活を送るためのケアの技術～若年性パーキンソン病患者と語る～《筆頭》	単著	2008.8	第 13 回日本難病看護学会学術集会公開セミナー(東京)	<u>秋山智</u>
48	パーキンソン病と取り巻く社会的問題点～若年性パーキンソン病を中心として～	単著	2008.10	第 5 回 HOPE&PDSO 研究会(京都)	<u>秋山智</u>

49	神経難病看護師(仮称)育成プログラムに関する検討	単著	2008.12	平成 20 年度難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者の QOL の向上に関する研究」班研究報告会(東京)	川村佐和子・小倉朗子・藤田美江・小西かおる・牛込三和子・牛久保美津子・ <u>秋山智</u> ・他
50	神経難病療養者への訪問看護の提供体制の整備に関する研究	共著	2008.12	平成 20 年度難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者の QOL の向上に関する研究」班研究報告会(東京)	松下祥子・小倉朗子・村田加奈子・牛込三和子・川村佐和子・本田彰子・牛久保美津子・ <u>秋山智</u> ・他
51	若年性パーキンソン病患者の生活の現状に関する調査～遺伝看護の視点から～《筆頭》	共著	2008.12	平成 20 年度難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者の QOL の向上に関する研究」班研究報告会(東京)	<u>秋山智</u> ・岡本裕子
52	親子間腎移植患者の移植に関連した心理～子どもから親への移植のケースを通して～	共著	2009.1	第42回日本臨床腎移植学会(浦安)	空本奈緒・吉山琴美・永田真澄・木原智恵美・岡本裕子・ <u>秋山智</u>
53	神経難病療養者への訪問看護提供体制の課題に関する研究	共著	2009.3	第13回日本在宅ケア学会学術集会(大阪)	松下祥子・小倉朗子・村田加奈子・牛込三和子・川村佐和子・本田彰子・牛久保美津子・ <u>秋山智</u> ・他
54	看護学生の臨床実習環境とストレス・コーピングに関する実態研究調査	共著	2009.5	広島国際大学研究成果報告会(2009)	小笠原知枝・吉岡さおり・山本洋美・ <u>秋山智</u> ・江口瞳・片山はるみ
55	気管・口腔吸引の技術修得に関する研究―臨地実習における看護学生の経験の2年間の実態調査から―	共著	2009.7	第40回日本看護学会学術集会：看護総合(京都)	深堀美紀子, 坪井敬子, <u>秋山智</u> , 岡本裕子, 坂村八恵
56	気管吸引の技術演習方法の検討―演習後の到達度自己評価から―	共著	2009.8	第40回日本看護学会学術集会：看護教育(岡山)	深堀美紀子, 坪井敬子, <u>秋山智</u> , 岡本裕子, 坂村八恵
57	若年性パーキンソン病患者の遺伝に関連する問題	共著	2009.8	第14回日本難病看護学会学術集会(前橋)	<u>秋山智</u> ・岡本裕子
58	SEIQoL-DWによる経時的な変化の意味に関する研究～若年性パーキンソン病患者の QOL について～	共著	2009.8	第14回日本難病看護学会学術集会(前橋)	<u>秋山智</u> ・岡本裕子

59 難病看護と遺伝～看護職として出来ること～	共著	2009.8	第14回日本難病看護学会学術集会公開セミナー(前橋)	秋山智・武藤香織・柊中智恵子
60 神経難病の長期療養生活を支える様々な施設滞在型サービス事例の報告	共著	2009.12	平成 21 年度難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者の QOL の向上に関する研究」班研究報告会(東京)	牛小保美津子・川村佐和子・多賀谷悦代・小倉朗子・牛込三和子・秋山智・他
61 神経難病療養者の長期療養生活を支える支援システムに関する研究	共著	2009.12	平成 21 年度難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者の QOL の向上に関する研究」班研究報告会(東京)	小倉朗子・牛込三和子・本田彰子・大木正隆・川村佐和子・秋山智・他
62 若年性パーキンソン病患者の QOL 評価～SEIQoL-DWによる経時的な変化の分析を通して～	共著	2009.12	平成 21 年度難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者の QOL の向上に関する研究」班研究報告会(東京)	秋山智・岡本裕子
63 神経難病看護師(仮称)育成のためのプログラムに関する検討	共著	2009.12	平成 21 年度難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者の QOL の向上に関する研究」班研究報告会(東京)	藤田美江・川村佐和子・小倉朗子・秋山智・小森哲夫・他
64 訪問看護ステーションの神経難病療養者の受け入れと提供体制に関する研究	共著	2009.12	平成 21 年度難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者の QOL の向上に関する研究」班研究報告会(東京)	松下祥子・小倉朗子・村田加奈子・牛込三和子・川村佐和子・秋山智・他
65 気管吸引の技術演習方法の検討ー演習の構成に関する一考察ー	共著	2010.8	第 41 回 日本看護学会ー看護教育ー学術集会(佐世保)	深堀美紀子, 秋山智, 岡本裕子, 坂村八恵, 坪井敬子

66 若年性パーキンソン病患者の患者団体の活動	共著	2010.8	第15回日本難病看護学会学術集会(山形)	秋山智・岡本裕子・上西孝明・パーキンソン病患者には代表的な患者組織として「全国パーキンソン病友の会」がある。しかし、会員はその疾患特性から高齢者が多く、若年者の入会は稀である。数年前より全国レベルの友の会若年部会が組織されているはいるが、その活動についてはいまだ順調に行われているとは言い難い。しかし、患者組織は友の会ばかりではない。最近、全国各地で必ずしも友の会にこだわらない様々な試みが行われ始めている。今回、各地の若年性パーキンソン病患者の患者団体の活動についてまとめ、その現状と課題について報告した。
67 パーキンソン病若年患者の長期療養生活における問題について～NPO 法人パーキンソン病若年患者会「オズ」の活動から～	共著	2010.8	第15回日本難病看護学会学術集会(山形)	秋山智・結城勝巳・岡本裕子・上西孝明 若年患者は、数が少ないが故に自分以外の若年者の存在も知らず、孤独に病気と向き合っていることが多い。そんな若年患者たちが、インターネットを通しての交流をきっかけに、実生活の問題解決を図ることを目的に組織したのが「オズ」である。「オズ」は2年前から活動をはじめたが、昨年には法人化し特定非営利活動法人となった。今回、これまでの「オズ」の活動と、その活動を通して明らかになった若年患者のおかれている問題や状況について報告した。
68 若年性パーキンソン病患者の QOL の特徴～SEIQoL-DWによる経時的分析を通して～	共著	2010.8	第15回日本難病看護学会学術集会(山形)	秋山智・岡本裕子・上西孝明 本研究では、数年間経時的に同じ患者に SEIQoL-DW を実施することにより明らかになった変化の様相とその意味について考察し、若年性パーキンソン病患者の QOL の特徴について検討した。
69 難病看護と遺伝～看護職としての支援～	共著	2010.8	第15回日本難病看護学会学術集会公開セミナー(山形)	秋山智・柊中智恵子・武藤香織
70 神経難病の長期療養生活を支える様々な施設滞在型サービス事例の報告	共著	2010.8	第15回日本難病看護学会学術集会(山形)	牛小保美津子・川村佐和子・多賀谷悦代・小倉朗子・牛込三和子・秋山智・他
71 訪問看護ステーションの神経難病療養者の受け入れ状況と提供体制に関する研究	共著	2010.8	第15回日本難病看護学会学術集会(山形)	松下祥子・小倉朗子・牛込三和子・川村佐和子・本田彰子・牛小保美津子・秋山智・藤田美江・他
72 神経難病看護師(仮称)育成のためのプログラムに関する検討～日本難病看護学会参加者を対象としたアンケート結果から	共著	2010.8	第15回日本難病看護学会学術集会(山形)	藤田美江・川村佐和子・小倉朗子・秋山智・小森哲夫・他

73	Actual condition of disease disclosure of the Early-Onset Parkinson's disease patients to circumference people	共著	2010.11	2nd Japan China Korea Nursing Conference (tokyo)	Yuko Okamoto, <u>Satoru Akivama</u> , Yae Sakamura, Takaaki Kaminishi
74	若年性パーキンソン病患者の QOL 評価～SEIQoL-DWによる4年間の継続評価の分析を通して～	共著	2010.12	平成 22 年度難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者の QOL の向上に関する研究」班研究報告会(東京)	<u>秋山智</u> ・岡本裕子・上西孝明
75	神経難病看護師(仮称)育成のためのプログラムに関する検討	共著	2010.12	平成 22 年度難治性疾患克服研究事業「特定疾患患者の QOL の向上に関する研究」班研究報告会(東京)	藤田美江・川村佐和子・小倉朗子・ <u>秋山智</u> ・小森哲夫・他
76	若年性パーキンソン病患者の“社会との接点”と“SIEQoL-DW”との関連に関する研究	共著	2011.8	第16回日本難病看護学会学術集会(東京)	<u>秋山智</u> ・岡本裕子・上西孝明 SEIQoL-DWは、QOL尺度の中でも患者自身が生活の質ドメインを直接的に重み付けするという特徴がある。この方法を複数年継続すると、インデックス値が変化することがわかる。そして値の変動の原因として、何かしらの“社会との接点”の存在があることが考えられる。本研究では、若年性パーキンソン病患者の“社会との接点”と“SEIQoL-DW”との関連に焦点を当て、値の変動の原因検索を通して患者のQOLの向上に寄与する方策を検討した。
77	若年性パーキンソン病患者における SIEQoL-DW と MASAC-PD31 との関連	共著	2011.8	第16回日本難病看護学会学術集会(東京)	<u>秋山智</u> ・岡本裕子・上西孝明 MASAC-PD31は、パーキンソン病患者の運動症状・非運動症状のレベルを表すスケールである。全体は2つのパートからなり、パート1が運動症状、パート2が非運動症状についての質問構成である。本研究では、患者のQOLを表すSEIQoL-DWの値と、患者の運動症状・非運動症状の値を表すMASAC-PD31との関連を明らかにした。
78	パーキンソン病若年発症患者の総括的支援	共著	2011.8	第16回日本難病看護学会学術集会公開セミナー(東京)	<u>秋山智</u> ・結城勝巳

79	Quality-of-Life Evaluation of Early-onset Parkinson's Disease Patients through Ongoing Assessment Using the SEIQoL-DW	共著	2012.3	International Hiroshima Conference on Caring and Peace (Hiroshima)	Yuko Okamoto, <u>Satoru Akiyama</u> , Yae Sakamura, Takaaki Kaminishi
80	SEIQoL-DW を用いた若年性パーキンソン病患者の QOL に関する研究～経年値の変動の幅が小さい群へのケアリング～	共著	2012.8	第17回日本難病看護学会学術集会 (東京)	<u>秋山智</u> ・岡本裕子・上西孝明 本研究では、若年性パーキンソン病患者に経時的に SEIQoL-DW を行い、必ずしも値が大きく変化しないケースについてそのキューの内容や得点を分析した。その結果から若年性パーキンソン病患者の QOL の特徴を明らかにすると共に、ケアに寄与する方策を検討した。
81	若年性パーキンソン病患者に対する MASAC-PD31 を用いた分析～SIEQoL-DW との関連～	共著	2012.8	第17回日本難病看護学会学術集会 (東京)	<u>秋山智</u> ・岡本裕子・上西孝明 本研究では、特に若年性パーキンソン病患者において MASAC-PD31 の値の変化を3年間の調査結果から分析し、発症年齢や罹患年数などによって特徴があるか明らかにした。さらに、MASAC-PD31 による症状の変化と患者の主観的な QOL を表す SEIQoL-DW の値との関連を明らかにし、患者の QOL の向上のための示唆を得た。
82	実務実習事前学習へのフィジカルアセスメント実習の導入～看護学科との学部連携の試み～	共著	2012.11	第51回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会 (松江)	木村幸司, 橋本佳奈, 胡田順子, 前田志津子, 田山剛崇, 佐々木順一, 佐和章弘, 谷口良彦, 三宅勝志, 二井矢清香, 西川まり子, <u>秋山智</u> , 島谷智彦, 塚本豊久
83	緊急入院患者の家族のニーズの特徴とその影響要因	共著	2013.3.3	日本看護研究学会第26回中国四国地方会学術集会 (米子)	上西孝明・ <u>秋山智</u>
84	非医療従事者の死生観に関する研究～平井らの死生観尺度を用いて～	共著	2013.8.23	第39回日本看護研究学会学術集会 (秋田)	杉野美和・ <u>秋山智</u> ・上西孝明
85	家族と離別した若年性パーキンソン病患者の事例分析	共著	2013.8.24	第18回日本難病看護学会学術集会 (東京)	<u>秋山智</u> ・岡本裕子・上西孝明
86	職を失った若年性パーキンソン病患者の事例分析	共著	2013.8.24	第18回日本難病看護学会学術集会 (東京)	<u>秋山智</u> ・岡本裕子・上西孝明
87	看護研究と実践の相互作用～SIEQoL-DW を用いた研究実践を通して～	単著	2013.8.30	第16回北日本看護学会学術集会教育セミナー (山形)	<u>秋山智</u>

88	難病患者の社会参加と生活設計～SEIQoL-DWから見えてきた若年性パーキンソン病患者のQOL	単著	2014.8.29	第19回日本難病看護学会学術集会：会長講演(呉)	<u>秋山智</u>
89	女性若年性パーキンソン病患者の結婚と出産・育児	共著	2015.7.24	第20回日本難病看護学会学術集会(東京)	<u>秋山智</u> ・岡本裕子
90	男性若年性パーキンソン病患者の就業の現状と支援	共著	2015.7.24	第20回日本難病看護学会学術集会(東京)	<u>秋山智</u> ・岡本裕子
91	SIEQoL-DWによる経時的変化からみた若年性PD患者のQOLの検討	共著	2015.7.24	第20回日本難病看護学会学術集会(東京)	<u>秋山智</u> ・岡本裕子
92	ドーパミン調節異常症候群に苦しんだ若年性パーキンソン病患者の事例分析～経時的にSEIQoL-DWを用いての子育て期間中の女性患者の分析～	共著	2015.7.25	第20回日本難病看護学会学術集会(東京)	<u>秋山智</u> ・岡本裕子
93	難病患者が本音で語る～第1回JPCと若年性パーキンソン病	単著	2015.7.25	第20回日本難病看護学会学術集会公開セミナー(東京)	<u>秋山智</u>
94	難病看護における看護診断	単著	2016.7.7	第22回日本看護診断学会学術大会：教育講演(福岡)	<u>秋山智</u>
95	若年性パーキンソン病患者のSIEQoL-DW及びMASAC-PD31の経時的変化と関係性	共著	2016.8.26	第21回日本難病看護学会学術集会(北海道)	<u>秋山智</u> ・岡本裕子・平岡正史
96	若年性パーキンソン病患者の嗅覚障害による日常生活への影響と対策	共著	2016.8.26	第21回日本難病看護学会学術集会(北海道)	<u>秋山智</u> ・岡本裕子・平岡正史
97	若年性パーキンソン病患者の生活の現状と課題	単著	2016.8.27	第21回日本難病看護学会学術集会公開交流集会(北海道)	<u>秋山智</u>
98	看護大学生の統合看護学実習における緩和ケア病棟での学び—実習終了後のレポートから—	共著	2017.2.5	第31回日本がん看護学会学術集会(高知)	竹山広美, 岡本裕子, 野間雅衣, <u>秋山智</u> ,

99	女性若年性パーキンソン病患者の恋愛と結婚に関する一考察	共著	2017.8.25	第22回日本難病看護学会学術集会（東京）	<u>秋山智</u> ・岡本裕子・平岡正史
00	長期的に見た若年性 PD 患者の QOL の変遷とその要因(1)～SIEQoL-DW が下降した事例の分析～	共著	2017.8.25	第22回日本難病看護学会学術集会（東京）	<u>秋山智</u> ・岡本裕子・平岡正史
01	長期的に見た若年性 PD 患者の QOL の変遷とその要因(2)～SIEQoL-DW が下降しなかった事例の分析～	共著	2017.8.25	第22回日本難病看護学会学術集会（東京）	<u>秋山智</u> ・岡本裕子・平岡正史
02	若年性パーキンソン病患者の「病気の不確かさ」の要因～UUIS を用いた分析～	共著	2017.8.25	第22回日本難病看護学会学術集会（東京）	平岡正史・ <u>秋山智</u> ・岡本裕子
03	若年性パーキンソン病患者の生活の現状と課題～母としての思い、そして子の思い～	単著	2017.8.26	第22回日本難病看護学会学術集会公開交流集会（東京）	<u>秋山智</u>
04	中国残留日本人孤児とその配偶者の予防的保健行動～帰国後の実態～	共著	2017.11.25	第32回日本国際保健医療会（東京）	網脇慎治・ <u>秋山智</u> ・西川まり子
05	神経難病高齢者における生活実態と生きがい感、およびスピリチュアリティ健康感との関連性	共著	2018.3.4	日本看護研究学会中国・四国地方会第31回学術集会（山口）	岡本裕子，讚井真理， <u>秋山智</u> ，三宅徳則，河野保子
06	SIEQoL-DW による 12 年間の継続研究からみた若年性 PD 患者の QOL の特徴	共著	2018.7.21	第23回日本難病看護学会学術集会（新潟）	<u>秋山智</u> ・岡本裕子・平岡正史
07	失業状態・離婚を経験した 2 例の若年性 PD 患者の 12 年にわたる SIEQoL-DW の比較から	共著	2018.7.21	第23回日本難病看護学会学術集会（新潟）	<u>秋山智</u> ・岡本裕子・平岡正史
08	若年性パーキンソン病患者の「病気の不確かさ」に関する経時的変化～UUIS 質問紙を用いた 6 年間の分析～	共著	2018.7.21	第23回日本難病看護学会学術集会（新潟）	平岡正史・ <u>秋山智</u> ・岡本裕子
09	神経難病高齢者における生活実態及び医療サービス利用状況と医療への満足度との関連性	共著	2018.7.22	第23回日本難病看護学会学術集会（新潟）	岡本裕子， <u>秋山智</u> ，平岡正史
10	若年性パーキンソン病患者の生活の現状と課題～これまでの研究成果から～	単著	2018.7.22	第23回日本難病看護学会学術集会交流集会（新潟）	<u>秋山智</u>

11	職種別メンタルヘルス不調対策の実態調査	共著	2019.2.1	第 89 回日本衛生学会学術総会 (名古屋)	山縣英久、高野賢一郎、老谷るり子、花田奈央、梅田幹人、 <u>秋山智</u> 、影山隆之
12	関西圏の職域におけるメンタルヘルス問題の衛生管理者対象の実態調査	共著	2019.5.25	第 92 回日本産業衛生学会 (名古屋)	山縣英久、高野賢一郎、老谷るり子、花田奈央、梅田幹人、 <u>秋山智</u> 、影山隆之
13	The problems of young onset Parkinson's disease and their counterplan	単著	2019.6.5	5 th WORLD PARKINSON CONGRESS (KYOTO)	<u>Satoru Akiyama</u>
14	SEIQoL-DW による 13 年間の継続研究からみた若年性 PD 患者の QOL の特徴	共著	2019.8.23	第 24 回日本難病看護学会学術集会 (山形)	<u>秋山智</u> ・岡本裕子・平岡正史
15	DBS (脳深部刺激術) を実施した若年性 PD 患者の QOL ～日本語版 DRS を用いた評価から～	共著	2019.8.23	第 24 回日本難病看護学会学術集会 (山形)	<u>秋山智</u> ・岡本裕子・平岡正史
16	若年性 PD 患者における「病気の不確かさ」の変化 ～H24 年から H30 年までの 7 年間の UUIS 調査より～	共著	2019.8.23	第 24 回日本難病看護学会学術集会 (山形)	平岡正史・ <u>秋山智</u> ・岡本裕子
17	若年性パーキンソン病を持つ妻に生じた課題と夫の対処～SEIQoL-DW 値の高い事例より～	共著	2020.11.20	第 25 回日本難病看護学会学・第 8 回難病医療ネットワーク学会合同学術集会 (東京)	<u>秋山智</u> ・岡本裕子・平岡正史
18	若年性 PD 患者の病気の不確かさ (UUIS) と MASAC-PD31 および SEIQoL-DW との関連	共著	2020.11.20	第 25 回日本難病看護学会学・第 8 回難病医療ネットワーク学会合同学術集会 (東京)	平岡正史・ <u>秋山智</u> ・岡本裕子
19	SEIQoL-DW からみた若年性 PD 患者のコロナ禍の影響	共著	2021.7.17	第 26 回日本難病看護学会学術集会 (熊本)	<u>秋山智</u> ・岡本裕子・平岡正史
20	若年性パーキンソン病 (PD) 患者の病気の不確かさに対する向き合い方	共著	2021.7.17	第 26 回日本難病看護学会学術集会 (熊本)	平岡正史・ <u>秋山智</u> ・岡本裕子
	以上 120 件				

上記記載以外に

著書 0 件

学术论文 0 件

その他 11 件